

海岸護岸・防潮堤の総点検と改修・嵩上げを

梶田稔議員は、6月2日、日本共産党議員団を代表して町政に関する一般質問を行い、安心・安全な町づくり、町営住宅の改善などについて、次のように町当局の見解をいただきました。

武豊町地域防災計画の抜本的な見直しを

梶田稔議員質問 予想される東海・東南海地震では、マグニチュード8・27、震度6強の揺れが想定されています。

愛知県が調査して発表した「愛知県活断層アトラス」によれば、武豊町内には玉貫撓曲、東大高撓曲、別曾池撓曲、そして旭硝子沖・衣浦港3号地付近には2・5kmにわたってリニアメントが存在し、液状化が「極めて高い」地域が、臨海部はもとより内陸部にも広く存在しています。

えるとともに東日本大震災の教訓も活かして、「安心・安全なまちづくり」をすすめるために、「武豊町地域防災計画」の抜本的な見直しが求められています。

次の諸点について、具体的な点検と措置を求めたい。

①海岸護岸の防潮堤は、設置後50年以上経過し、老朽化が進んでいますし、液状化による陥没も想定されます。県当局へ、総点検と必要な改修・嵩上げ等を要請されたい。

②ライフライン確保の一環として、水道管の耐震化を促進されたい。

③生活道路を確保するために、小規模の橋を含めて全ての橋を再点検し、落橋防止対策など必要な措置を講じられたい。

④地震による農業用配水パイプラインの損壊が予想されます。配水管の耐震化とともに、ため池を改修して機能を回復させる措置を講じられたい。

⑤木造住宅の多くが倒壊する恐れがあります。自発性に任せるだけでなく、強ちに誘導する策を講じて、木造住宅の耐震化をいっそう促進されたい。

⑥障がい者・要介護者・高齢者など、移動困難者対策の具体化を促進されたい。

⑦地盤の液状化が極めて高い武豊高校の避難場所としての指定を解除するなど、避難場所を再検討されたい。

⑧防災マップに等高線を追加し、津波の高さや到達時間を表示するとともに、液状化マップを作成して配布されたい。

⑨防災備蓄品の内容に、放射性物質の被害を予防・軽減するために「ヨード剤」を追加されたい。

⑩小中学校の教科書から、原発の「安全神話」に関わる記述を削除されたい。

代表質問を行う梶田稔議員（6月2日）質問及び答弁の全文、議会議決の様子は、下記のホームページをご覧ください。
<http://www.kajita-m.jp>

代表質問を行う梶田稔議員（6月2日）質問及び答弁の全文、議会議決の様子は、下記のホームページをご覧ください。
<http://www.kajita-m.jp>

産業建設部長答弁 ②については、口径200mm以上の基幹管路36・3kmのうち9・3km、25・7%は耐震化している。今後は、長期的計画を立てて推進したい。

③については、橋長15m以上の11橋については落橋防止対策済みである。なお、橋長15m未満の単純形式で、両端に橋台のあるものについては、耐震性は確保されていると考えている。

④については、漏水などの維持修繕工事の中で対応したい。

ため池改修は、整備計画を検討したい。

⑤については、6月定例会にも補正予算を計上しており、促進を図りたい。

総務部長答弁 ⑥については、災害時要援護者台帳を整備し、地域支援者を募集して対応したい。

⑦については、武高建設時に地盤調査を行って必要な基礎工事を行っているので、避難場所を解除する予定はない。

⑧については、現在の防災マップに等高線や津波情報などを追加し、近日中に印刷・配布したい。

⑨については、現状での必要性から判断して、備蓄品に追加する考えはない。

教育部長答弁 ⑩については、原子力に関する記載はあるが、エネルギー問題の現状についての記載であり、決して原子力の安全神話を唱えているものではない。

町営住宅の改善・改修を

梶田稔議員質問 町営住宅が建設されてから38年が経過しています。

入居者から、施設改善の要望が多く出されていますので、具体的に措置するよう要請したい。

①風呂、カーテン（カーテンレールを含む）、網戸を設置されたい。

②駐車場を設置されたい。

③集会場を設置されたい。

④高齢者向け住宅を建設されたい。また、既設の町営住宅を一部改修して、高齢者向け住宅を設置されたい。

産業建設部長答弁 ①について、建設当時の状況では、一般的に風呂桶などは設置されていかなかった。入居者の同意の上のことなのでご了承いただきたい。

②についても、自費で措置していただきたいと考える。

③集会所があったにこしたことはないが、玉貫老人憩の家などを利用して頂きたい。

④屋内の手摺りや段差の解消などを実施しているが、高齢者住宅の建設までは考えていない。